

第 23 表

国内郵便物数 (引受)

本表は郵政統計年報によったもので、府下の郵便局が引受けた国内向け郵便物数である。

区 分	昭和 35 年度			昭和 34 年度			昭和 33 年度			
	総 数	有 料	無 料	総 数	有 料	無 料	総 数	有 料	無 料	
総 数	583 086	573 548	9 536	531 181	520 612	10 569	476 525	466 622	9 902	
通常総数	571 783	562 491	9 270	520 650	510 350	10 300	466 825	457 184	9 641	
普通	総 数	539 645	531 665	7 979	494 440	485 369	9 071	444 634	436 305	8 329
	第 1 種	79 884	72 827	7 057	76 598	69 406	7 192	72 257	64 954	7 303
	第 2 種	159 900	159 210	690	151 643	150 052	1 591	141 139	140 392	746
	第 3 種	79 339	79 332	6	68 098	68 091	7	62 332	62 326	5
	第 4 種	609	609	-	629	629	-	636	636	-
特 殊	第 5 種	219 913	219 687	226	197 472	197 191	281	168 271	167 997	274
	総 数	32 118	30 826	1 291	26 210	24 981	1 229	22 191	20 879	1 312
	普通速達	18 706	18 470	236	14 252	14 083	169	11 179	11 014	165
	書 留	13 412	12 356	1 055	11 958	10 898	1 060	11 012	9 865	1 147
	小包総数	11 323	11 057	266	10 531	10 262	269	9 700	9 438	261
普通	7 014	6 870	144	6 956	6 825	131	6 481	6 351	130	
特 殊	総 数	4 308	4 187	121	3 575	3 437	138	3 219	3 087	131
	書 留	3 070	2 949	121	2 602	2 464	138	2 423	2 291	131
普通速達	1 238	1 238	-	973	973	-	796	796	-	

資料 大阪郵政局。

第 24 表

外国郵便物数 (引受)

本表は郵政統計年報によったもので、府下各郵便局が外国向けとして引受けた郵便物数である。

区 分	昭和 35 年度			昭和 34 年度			昭和 33 年度			
	総 数	普 通	書 留	総 数	普 通	書 留	総 数	普 通	書 留	
総 数	9 207 779	8 195 599	1 012 180	8 337 748	7 440 277	897 471	7 447 500	6 654 361	793 139	
通常総数	8 948 300	7 938 083	1 010 217	8 126 689	7 233 627	893 062	7 265 391	6 473 464	791 927	
航空郵便	総 数	7 229 178	6 271 645	957 533	6 459 967	5 619 192	840 775	5 528 816	4 803 609	725 207
	書 状	4 385 709	3 783 962	601 747	3 884 247	3 340 441	543 806	3 418 120	2 939 141	478 979
	葉 書	166 649	166 641	8	127 203	127 195	8	69 489	69 187	302
	業務用書類	534 665	462 309	72 356	400 081	335 808	64 273	285 927	234 544	51 383
	印刷物	861 831	828 403	33 428	815 288	783 115	32 173	766 108	738 652	27 456
	商品見本の他	1 092 175	887 987	204 188	1 061 820	900 299	161 521	850 396	711 980	138 416
船 便	その他	188 149	142 343	45 806	171 328	132 334	38 994	138 776	110 105	28 671
	総 数	1 719 122	1 666 438	52 684	1 666 722	1 614 435	52 287	1 736 575	1 669 855	66 720
	書 状	298 432	283 179	15 253	294 943	279 241	15 702	324 441	293 576	30 865
	葉 書	96 830	96 830	-	66 872	66 872	-	55 562	55 562	-
	業務用書類	51 636	49 803	1 833	41 899	39 383	2 516	37 335	33 614	3 721
	印刷物	980 058	969 993	10 065	992 746	984 712	8 034	990 759	985 080	5 679
小包総数	商品見本の他	225 763	206 594	18 769	212 366	193 449	18 917	268 518	249 405	19 113
	その他	66 803	60 039	6 764	57 896	50 778	7 118	59 960	52 638	7 342
航空郵便	141 018	139 933	1 085	118 292	115 620	2 672	93 597	92 942	655	
船 便	118 461	117 583	878	92 767	91 030	1 737	88 512	87 955	557	

資料 大阪郵政局。

第 11 章  
商業および貿易

### 第11章 商業および貿易

#### 概況

昭和35年におけるわが国経済は、<sup>1</sup>「岩戸景気」といわれた34年に引つづき依然好調を示し、政府の強力な経済成長政策等にバック・アップされて、高い成長率を維持するにいたった。

しかし年間を通じては一様の拡大テンポをみせたわけではない。すなわち34年末の公定歩合引上げや、35年1月の貿易自由化政策の打出しなどにより、景気は先ゆきに対する考えが慎重になって景気はやや下降線をたどった。しかしながら産業界の技術革新の波に乗って設備投資は依然としておう盛でありまた一般消費も堅調を続けたため、6～7月より景気は再び上昇に転じ、しかも8月下旬には公定歩合引下げのほか、政府の強力な成長政策が出されて、一層強い上昇局面を形づくった。しかしながら、国際収支は経常面での黒字が35年度末には赤字に転じ、ようやくその前途に暗雲のたぐいはじめたことを物語った。

このような動きを背景とした府下における商業の景況をみると、全国取扱量の約60%を扱っている繊維業界は、34年の好況を持続し陽の当る産業となったが、一方では大商社、大紡績の系列化も進んだ。また一般消費面をみると依然として堅調を続け、最終需要動向の指標としてみる市内百貨店売上高は、前年に比し22%の伸び率をみせ、34年のその15%を大きく上回った。

#### 商店の動向

昭和35年6月1日現在で実施された「商業調査」によれば、府下における商店数は12万7,227を数え、前回調査(昭33)に対し6.4%、約7,600店の増加がみられ、その年間販売額(昭34.6.1～昭35.5.31)は5兆5,275億円に達し、前回(4兆4千億円)からの伸びは24.3%に及んだ。

業態別にまず店舗数をみると、卸売業は2万5,718店で総数の20.2%になり、小売業は残り10万1,509店、79.8%を占めたが、前回調査にくらべると卸売業の増加が小売業のそれを上回ったため、総数に対する割合も卸売業が前回の19.1%を更新した。また年間販売額では、一般卸売業が5兆1,044億円をあげて、総販売額の92.4%に及び、小売業はその店舗数が卸売業の約5倍に当るに

もかわらず、わずかに3千億円程度の売上げにとどまり、各種商品小売業(主として百貨店)を除き規模の零細さを物語っている。なお卸売業の中では、繊維品卸売業が販売額の40.9%を占め、府下商業界において繊維業界が依然君臨するとともに、大阪経済に大きなウエイトを持つことを示している。

#### 貿易の概況

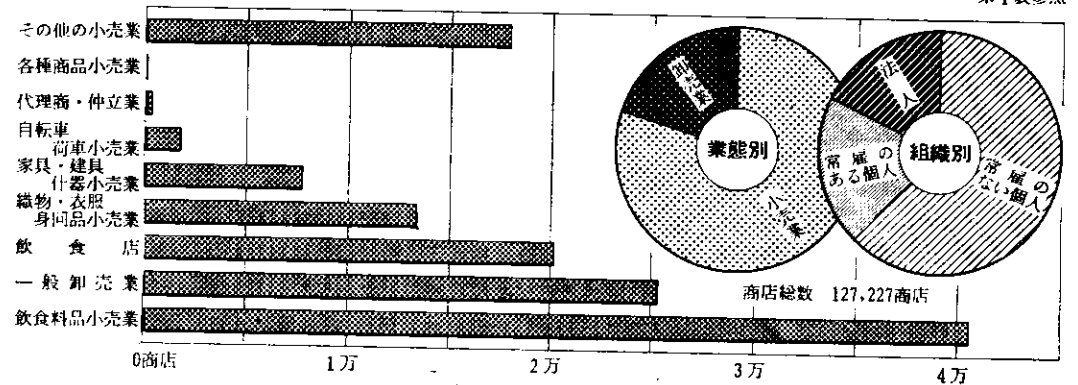
昭和35年におけるわが国の貿易は、<sup>2</sup>「自由化」の波にもまれながらも前年に引続き活発な動きを呈した。輸入が漸増傾向を維持したのに対し、輸出は下半期に入って伸び悩み状態を示したため、35年度の経常収支は3年ぶりに支払超過に転じたが、総合収支は一貫して黒字を続けた。しかしながら、戦後15年間管理貿易の温室で育ったわが国経済にとって、新しく打出された貿易自由化政策は、今後幾多の問題を投げかけるものとなるであろう。

ひるがえって、大阪港における輸出入の状況を見ると、高度成長のわが国経済の動きを反映して、その実績は昨年のを大きく上回り、特に輸出は最高の1,383億円を記録し、輸入もまた1,389億円で昭32年につぐものとなった。また前年に比べると、輸出は41.7%、輸入は10.4%の伸びを示し、全国のその13.6%、20.4%と比べると、輸出の伸び率が大幅に全国を上回り、「出超」を特色とした大阪貿易本来の姿に戻りつつある状態を思わせた。なお輸入の伸びが全国のそれについて行けなかったのは、輸入品の主力が食料・繊維原料から燃料・鉱石等に移行したためと考えられる。

貿易品目をみると、輸出では、綿糸、綿織物、鉄鋼・鉄鋼材、機械類が大きな割合を占め、輸入では、棉花、鉄鋼くず、木材で依然その半ばを占めたが、鉱石類、石灰、石油が昨年に比較し大きな伸びをみせた。また相手州別にみると、輸出ではアジア、アフリカ、中近東など後進国地域へのものが大きく73.2%を占め、これら地域が大阪貿易の最大市場であることを示すとともに、輸出総額に対する割合も昨年にくらべ増大傾向がみられ、明るい話題となった。輸入では北米州が50.4%でトップ、ついでアジア州が25.2%の割合に当り、例年どおりの状態をみせているが、わが国貿易が、アメリカ経済に依存することの大きさの一端を、大阪港の輸入からもうかがうことができるといえよう。

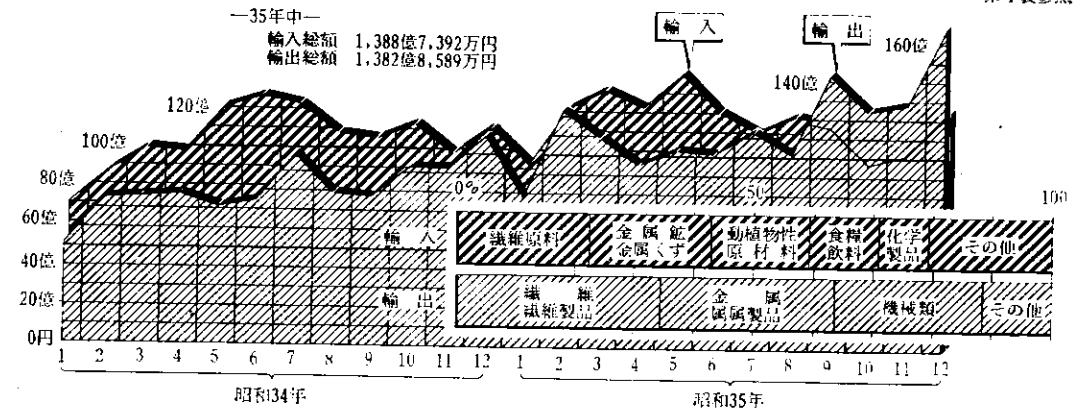
### 商店数の産業別比較と業態別・組織別割合

第1表参照



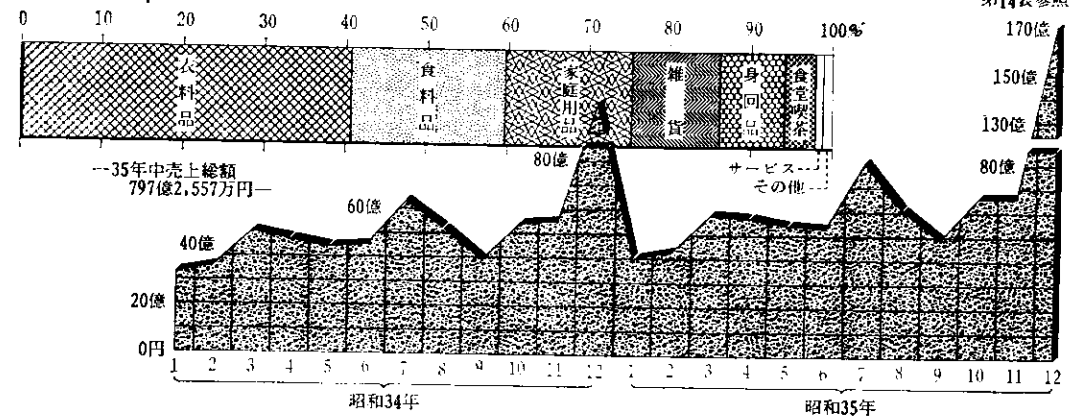
### 大阪港外国貿易額の月別のうごきと品目別割合

第4表参照



### 百貨店売上高の品種別割合と月別のうごき

第14表参照



第1表

産業小分類別商店数、従業者数、商品販売額等

本表は昭和35年6月1日現在で行われた「商業統計調査」によるもので、調査対象は「日本標準業分類」社、病院、映画館等の売店、街路上の露店、屋台、立売り行商人、住居商店は除かれている。\*

業者数、商品販売額等

の「卸売業および小売業」に属する事業所である。但し国、公共企業体に属するもの、官公庁、学校、会

Table with columns for industry classification (産業分類), store count (商店数), employees (従業者), and sales (商品販売額). Rows include various categories like clothing, food, and general goods.

Table with columns for employee count (常用労働者), monthly sales (月間), annual sales (年間), and other metrics like agency fees (代理仲立) and repair costs (修理料).

第2表

市区町村別、商

本表は昭和35年6月1日現在で行われた「商業統計調査」によるもので、これについては前表項注参照の

Table with columns for '市区町村別' (Municipalities), '総数' (Total), '卸売業' (Wholesale), '小売業' (Retail), '法人' (Corporate), '常用労働者' (Regular employees), and '従業者数' (Number of employees). Rows include years like '昭和31年' and '昭和35年', and municipalities like '大阪市' and '堺市'.

資料 大阪府総務部統計課（商業調査結果表）

店数、従業者数

こと、なお本表は大阪府で集計したものであるから通商産業省公表の結果数字とは若干相違する場合がある。

Detailed table for '店数、従業者数' (Number of shops and employees) categorized by '業者のある個人商店' (Individual shops with employees) and '常用労働者のない個人商店' (Individual shops without employees). Sub-categories include '卸売業' (Wholesale), '小売業' (Retail), and various industry types like '飲食店' (Food and drink shops), '自動車' (Automotive), etc.



第3表

市区町村別、地位別商店

本表は昭和35年6月1日現在で行われた「商業統計調査」によるもので、これについては第1表項注参照
なお本表は大阪府で集計したものであるから、通商産業省公表による結果数とは若干相違する場合があります。

Table with columns: 市区町村, 商店数, 従業者 (総数, 個人事業主, 家族従業員, 会社役員, 常用労働者, 臨時日雇), 商品年間販売額, 代理仲立による手数料収入額 (除飲食店), 修理料サービス料等の収入額 (除飲食店), 商品手持額 (除飲食店). Rows include 昭和31年, 昭和33年, 昭和35年, 市部計, 郡部計, 大阪市, 堺市, 岸和田市, etc.

資料 大阪府総務部統計課 (商業調査結果表)

従業者数、商品販売額等

のこと。1)には飲食店の従業者が除かれ、2)は月間数字であるが、昭和31年は8月、35年は6月分であり、
なお31年、33年は代理仲立による手数料と修理料サービス料収入とを併合していたが、35年から分離している。

Table with columns: 市区町村, 商店数, 従業者 (総数, 個人事業主, 家族従業員, 会社役員, 常用労働者, 臨時日雇), 商品年間販売額, 代理仲立による手数料収入額 (除飲食店), 修理料サービス料等の収入額 (除飲食店), 商品手持額 (除飲食店). Rows include 富田林川市, 河野長岡市, 松原東市, 三島郡, 泉北郡, 泉南郡, 南河内郡, 北河内郡, etc.

第4表 大阪港輸出入高

本表は輸出入申告書および船舶入出港届等の通関上の資料に基づいて作成したものである。価額のうち輸出は本船渡価額、輸入は到着価額である。

Table with columns for Year (昭和25年, 昭和35年), Month, and Quantity/Value for Import and Export. Includes sub-totals for '計' and '輸出超過'.

資料 大阪税関「外国貿易年表」

第5表 大阪港主要品目および州別輸出入額

本表は輸出入申告書および船舶入出港届等の通関上の資料に基づいて作成した昭和34年中のものである。価額のうち輸出は本船渡価額、輸入は到着価額である。

Table with columns for Product Category (e.g., 織物, 鋼, 鉄), Region (e.g., 東南アジア, ヨーロッパ), and Quantity/Value. Includes sub-totals for '輸出入' and '輸出'.

資料 大阪税関「外国貿易月表(速報)」

第6表 大阪港主要国別輸出入額

本表は輸出入申告書および船舶入出港届等の通関上の資料に基づいて作成したものである。価額のうち輸出は本船渡価額、輸入は到着価額であり、国別の輸出は最終仕向国、輸入は原産国または最初の仕出国である。

Table with columns for Country (e.g., 総額, アジア州, ヨーロッパ州, 北アメリカ州, アフリカ州, オーストラリアおよび大洋州, 特殊地域) and Quantity/Value for each year (昭和33年, 昭和34年, 昭和35年).

資料 大阪税関「外国貿易年表」

第7表

大阪港主要品目別輸出入高

本表は、輸出入申告書および船舶入出港等の通関上の資料に基いて作成したものである。価額のうち輸出は本船渡価額、輸入は到着価額である。

Table with columns for '品目別' (Category), '数量' (Quantity), and '昭和33年' (1960), '昭和34年' (1961), '昭和35年' (1962). Rows include '輸出総数' (Total Exports) and various goods like '魚介類' (Seafood), '繊維' (Textiles), '鉄鋼' (Iron and Steel), '自動車' (Automobiles), '輸入総数' (Total Imports), and '農産物' (Agricultural Products).

第8表

普通営業倉庫使用状況

本表は倉庫業法にもとづき倉庫業者が、近畿海運局に提出した報告を集計したものである。本表における倉庫は発券、非発券倉庫の両者を含み、冷蔵倉庫および水産木材は含まれない。また倉庫業者が倉庫業として運営する上屋を含む。化学製品中主なもの、工業薬品、染料であり、雑品中主なものは、ゴム製品、樹脂である。なお各年は12月末の入庫、出庫高であり、倉庫面積、保管残高は12月末現在である。

Table showing '倉庫総面積' (Total Warehouse Area) and '在庫高' (Inventory High) for '昭和31年' (1958) and '35年1月' (1962). It includes sub-columns for '総面積' (Total Area), '(内)在庫面積' (Inventory Area), and '数量' (Quantity).

Table showing '在庫高' (Inventory High) for '昭和31年' (1958) and '35年1月' (1962). It is categorized by '食料品' (Foodstuffs), '繊維品' (Textiles), and '雑品' (Miscellaneous Goods), with further sub-categories like '主食品' (Main Foodstuffs) and 'その他' (Others).

Table showing '在庫高' (Inventory High) for '昭和31年' (1958) and '35年1月' (1962). It is categorized by '肥料' (Fertilizers), '鉄金' (Iron and Gold), '機械品' (Machinery), '化学製品' (Chemical Products), and '雑品' (Miscellaneous Goods).





第 11 表

卸売業者の繊維原料、糸、

本表は繊維流通統計調査によるもので、下記品目の中繊維原料取扱卸売商社にしつぎ調査、糸及び織物を取扱う商社に

Table with columns for years (昭和 32 年 to 昭和 35 年) and categories (原料総数, 国産原料総数, 輸入原料総数, 糸総数, 織物総数). Includes sub-categories like cotton, wool, and synthetic fibers.

資料 大阪府総務部統計課（繊維流通調査）

織物別受入・引渡・在庫高

については公称資本金100万円以上の卸売商社が調査対象となっている。

Table with columns for years (昭和 32 年 to 昭和 35 年) and categories (スフ織物, 絹織物, 絹紡織物, 人絹織物, 毛織物, 麻織物, 合成繊維織物, 和紡織物). Includes sub-categories like silk, wool, and synthetic fibers.

第12表 商品取引

この表は各商品取引所の取引状況を掲げたものである。大阪化学繊維取引所は25年11月1日(ただし毛糸は28年7月1日より大阪穀物取引所は27年10月6日よりそれぞれ開所した。なお人絹織物、スフ織物については昭和27年6月以降立会中止の番手を合計して計上した。穀物は昭和35年9月新雨11月限より売買、受渡単位を1枚=40俵に改正。但し本表中35年度9、

Table with columns for Year (昭和31-36), Category (Chemical, Textile, Cotton), and Sub-category (Silk, Wool, Cotton). It lists high and low prices and transaction volumes.

資料 大阪化学繊維取引所、大阪三品取引所、大阪砂糖取引所、大阪穀物取引所「各月報」

第13表 商品取引所上場商品相場(開設~昭和36年3月31日)

本表は大阪三品取引所、大阪化学繊維取引所ならびに大阪砂糖取引所および大阪穀物取引所開業以来の相場の最高、最低を示す。なお綿糸30番手については昭和30年3月1日より、綿糸40番手については昭和32年8月1日より立会開始(A表参照)された。昭和32年11月先物以後(4月)の取引単位は人絹糸0.5kg、毛糸1kgとされたので、昭和33年3月31日以前の分についても一応換算した。精糖の立会開始は27年4月21日、黒糖は31年10月1日、穀物は昭和27年10月6日立会開始された。

Table showing market prices for various commodities like silk, wool, cotton, sugar, and beans from 1931 to 1936. Columns include commodity name, price range, and dates.

資料 大阪三品取引所、大阪化学繊維取引所、大阪砂糖取引所、大阪穀物取引所

所の概況

り上場)、大阪三品取引所は昭和26年6月11日、大阪砂糖取引所は27年4月21日(ただし黒糖は31年10月1日より上場)のため除く。綿糸30番手は昭和30年3月1日より綿糸40番手は昭和32年8月1日より立会開始された。綿糸は20、30、40 10月の出来高は全限を1枚=20俵に換算した枚数であり11月以降は1枚=40俵

Table showing general market conditions for sugar, cotton, and other goods. It lists high and low prices and transaction volumes for various grades of sugar and cotton.

第14表 大阪市内百貨店売上高

本表は阪急、大丸、高島屋、そごう、三越、松坂屋、近鉄、阪神(31年8月より)の8大百貨店の小売部門の集計であつて、卸売部門は含まれていないほか、身廻り雑貨が34年から身廻り品と雑貨に分かれた。なお月別の販売額は修正のため、年間の合計とは合わない。

Table showing monthly sales figures for major department stores in Osaka from 1931 to 1936. Columns include year/month, total sales, and sales by category (clothing, household goods, food, etc.).

資料 通産省調査統計部(百貨店統計月報)

第15表

中央卸売市場

この表は大坂市中央卸売市場における各年中の取扱品をまとめたものであり、府県別中「その他」とあるは北洋、南米

Table with columns for year/month (年月および都道府県), fresh aquatic products (生鮮水産物), processed aquatic products (加工水産物), vegetables (野菜), and other goods (その他). Rows include years 昭和31, 32, 33, 34 and 昭和35 (1-12 months), and various prefectures like 北海道, 青森, 秋田, etc.

の 入 荷 状 況

洋、小笠原、台湾、米、中、共、韓、印等であり、\*印は全府県のものである。

Table showing loading status with columns for fruit (果), vegetables (実), miscellaneous (つ), poultry (鶏), eggs (卵), and dry goods (乾物). Includes sub-columns for quantity (数量) and amount (金額) in kg and ten thousand yen (千円).

第 16 表

中央卸売市場の品

この表は大阪市中央卸売市場における昭和35年中の取扱状況をまとめたものであるが、「そ菜」については、府下産指

Table with 6 columns: 品目, 数量, 金額, 品目, 数量, 金額. It lists various fresh and processed seafood products like fish, shellfish, and squid with their respective quantities and prices.

資料 大阪市中央卸売市場。(中央卸売市場年報)

目別入荷量・金額

定ものが含まれていない。なお※印は淡水魚業者の入荷にかかるものである。

Table with 6 columns: 品目, 数量, 金額, 品目, 数量, 金額. It lists various agricultural and processed food items like vegetables, fruits, and seafood with their respective quantities and prices.

第17表

たばこ売上高

この表は日本専売公社大阪地方局から府下の販売店に売渡された各年月中の数であつて、総数には特殊製品(桃山、アストリア、日光、35年から富貴煙、パンドール、グロリアも含まれる)および外国製品は含まれていない。なおきざみたばこは1gを1本として換算してある。

Table with columns for year/month, total quantity/amount, and specific brands like 富士, ビー・ス, ホープ, ハイライト.

Table with columns for year/month, light (光), new (新), pearl (パール), sli-ee (スリーエー), and other (いこい) categories.

Table with columns for year/month, categories like みるどり, ゴールデンバット, 朝日, ききょう, みのり, 富貴煙.

資料 日本専売公社大阪地方局(専売事業統計月報)

第18表

酒類消費高

本表は府下における各年度中の状況であるが、昭和33年までは歴年合計である。

Table with columns for year/month, total quantity, and types of alcohol: 清酒, 合成酒, 焼酎, 味りん, 白酒, ビール, 果実酒, 雑酒.

資料 大阪国税局酒税課。

第19表

牛乳消費量

本表は「牛乳、乳製品調査」結果で、各年中のものであるが、いずれも生産者(工場)過程で取扱われたものである。

Table with columns for year, total quantity, and usage: 生乳, 乳, 飲料, 加工用, 加工用, その他, 府内生産, 移入.

資料 農林省大阪統計調査事務所。(大阪農林水産統計年報)

第20表

塩売上高

この表は大阪地方局から府下の販売店に売渡された各年中の食糧用およびその他の塩の数である。

Table with columns for year, total quantity, and types of salt: 内地塩, 粉碎塩, 原塩.

資料 日本専売公社大阪地方局

第21表

砂糖消費高

本表は砂糖製造業者の各年度中の取扱にかかる課税上の数量を掲載したものである。なお砂糖のうち第1種とは黒砂糖、第2種とは普通砂糖、第3種とは角砂糖、氷砂糖である。

Table with columns for year, total quantity (excluding tax), and types of sugar: 計, 第1種, 第2種, 第3種, 糖みつ, 糖水.

資料 大阪国税局。(税務統計書)

第 22 表

府県別商店数、従業者数、年間販売額

本表は昭和35年6月1日現在で実施された「商業統計調査」の結果によりサンプリング集計を行なったものである。抽出および推計方法は卸売業については従業者20人以上、小売業については10人以上の悉皆集計であり、それ以外は10%の抽出集計を行った関係上、各統計表の数字は合計と内訳が一致しない。ただし「代理商、仲立業」および「各種商品小売業」は規模にかかわらず悉皆集計した。(なお飲食店を含まない)

都道府県	総 数					卸 売 業					小 売 業		
	商店数	常時従業者数	年間販売額	年間販売額	商品手持額	商店数	常時従業者数	年間販売額	年間販売額	商品手持額	商店数	常時従業者数	従業者数
	店	人	百万円	百万円	百万円	店	人	百万円	百万円	百万円	店	人	人
全 国	1 513 183	5 345 619	22 576 125	1 404 491	225 652	1 901 752	18 269 232	918 510	1 287 531	3 443 867			
北海道	60 044	255 438	935 372	78 827	9 257	82 065	653 996	43 366	50 787	173 373			
青森県	19 777	59 012	126 315	13 271	1 855	15 089	79 726	6 408	17 922	43 923			
岩手県	19 677	54 956	92 946	10 609	1 901	11 344	46 135	3 959	17 776	43 612			
宮城県	26 903	86 066	283 017	21 032	3 427	26 347	223 562	12 755	23 476	59 719			
秋田県	20 225	53 464	89 682	11 080	1 637	10 484	47 753	4 621	18 588	42 980			
山形県	21 003	60 913	97 834	10 590	2 380	14 775	55 904	4 371	18 623	46 138			
福島県	31 359	92 311	162 620	16 994	3 820	22 969	100 273	8 730	27 539	69 342			
茨城県	32 531	85 077	137 072	13 002	3 737	18 148	73 309	5 085	28 794	66 929			
栃木県	26 826	78 084	163 179	11 995	3 491	20 761	106 703	5 489	23 335	57 323			
群馬県	27 190	78 137	154 678	13 467	3 779	20 226	96 756	6 425	23 411	57 911			
埼玉県	38 013	105 367	206 378	15 768	4 747	24 091	112 248	5 856	33 266	81 276			
千葉県	36 157	105 627	196 398	17 382	4 349	23 820	103 686	7 060	31 808	81 807			
東京都	153 831	858 010	5 802 860	289 063	34 379	420 447	4 986 481	219 321	119 452	437 563			
神奈川県	48 716	188 249	646 490	42 093	5 945	51 506	439 370	21 277	42 771	136 743			
新潟県	40 452	124 823	277 423	25 799	5 338	35 720	181 698	13 160	35 114	89 103			
富山県	19 926	54 681	117 196	12 690	2 150	16 062	80 684	6 843	17 776	38 619			
石川県	17 093	53 682	167 098	14 145	2 231	17 759	130 438	8 846	14 862	35 923			
福井県	14 384	40 421	124 406	9 875	1 857	11 675	99 946	6 527	12 527	28 746			
山梨県	12 463	36 901	77 625	7 056	1 318	9 796	51 421	3 685	11 145	27 105			
長野県	33 251	106 801	234 678	21 222	4 655	30 553	154 524	11 119	28 596	76 248			
岐阜県	28 041	83 363	198 992	17 101	4 494	27 508	142 130	9 540	23 547	55 855			
静岡県	51 766	156 016	451 191	31 141	7 605	49 399	329 504	17 354	44 161	106 617			
愛知県	77 909	296 176	2 139 084	97 331	15 469	136 060	1 930 339	75 224	62 440	160 116			
三重県	25 948	73 981	139 076	12 487	3 062	18 089	81 233	5 404	22 886	55 892			
滋賀県	13 911	35 249	57 117	6 640	1 345	6 560	27 936	2 363	12 566	28 689			
京都府	38 598	138 062	482 725	37 938	6 581	54 100	374 027	26 222	32 017	83 962			
大阪府	106 934	521 251	5 410 088	251 242	25 895	303 054	5 050 443	219 549	81 039	218 197			
兵庫県	62 337	205 604	752 960	48 348	8 240	63 760	562 409	27 201	54 097	141 844			
奈良県	13 005	31 481	47 493	5 717	1 152	6 193	23 744	297	11 853	25 288			
和歌山県	20 184	53 447	113 973	10 421	2 627	15 591	73 316	5 216	17 557	37 856			
鳥取県	9 182	28 003	49 039	5 461	1 138	7 318	28 797	2 479	8 044	20 685			
島根県	15 183	43 557	72 364	8 225	2 048	11 544	44 452	3 988	13 135	32 013			
岡山県	26 012	79 905	196 245	15 273	3 510	23 986	141 196	8 036	22 502	55 919			
広島県	38 993	118 023	335 077	28 324	6 021	41 701	253 908	17 429	32 972	76 322			
山口県	25 664	83 410	199 102	14 999	3 399	22 547	132 076	6 702	22 265	60 863			
徳島県	14 931	39 344	62 382	7 573	1 696	10 612	39 831	3 571	13 235	28 732			
香川県	16 744	49 060	107 826	9 922	1 897	14 085	76 647	5 316	14 847	34 975			
愛媛県	24 299	69 246	118 757	11 723	3 092	18 559	73 451	5 050	21 207	50 687			
高知県	14 541	41 126	65 618	7 185	1 570	11 389	36 388	3 320	12 971	29 737			
福岡県	57 389	231 418	82 251	58 890	8 405	80 425	633 182	38 906	48 984	150 993			
佐賀県	14 823	42 957	69 011	7 100	1 741	10 876	38 997	3 486	13 082	32 081			
長門県	24 587	77 411	150 297	13 329	2 518	19 331	87 312	5 733	22 069	58 080			
熊本県	28 184	83 558	131 547	12 980	3 014	19 586	73 092	5 725	25 170	63 972			
本分県	18 989	57 727	96 013	9 735	2 043	14 228	56 432	4 353	16 946	43 499			
大宮県	16 920	49 566	74 728	8 254	1 766	11 515	39 986	3 321	15 154	38 051			
鹿島県	28 288	78 658	139 878	11 170	3 071	20 099	93 762	5 602	25 217	58 559			

第 12 章  
金 融